

高大接続改革に向けた工程表

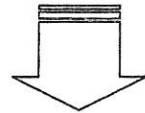
26年度		27年度		28年度		29年度		30年度		31年度		32年度～	
各大学の個別選抜改革	法令改正	中教審における審議		三つのポリシーを義務付ける ※アドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー 認証評価の評価項目に入学選抜を明記 ※ 法令改正にあわせて、関係機関・団体と連携して大学入学選抜に対する評価や情報公開の充実に取り組む									
	大学入学選抜実施要項見直し	中教審答申の提言に基づき28年度大学入学選抜実施要項から順次反映											
	アドミッションポリシー明確化	事例集の作成・提供		ガイドラインの作成・提供		各大学におけるアドミッション・ポリシーの明確化							
	財政措置	個別選抜改革を先行して行う大学への取組を推進するとともに、財政措置の在り方を検討し、27年夏を目途に具体策を取りまとめ											
大学入学希望者学力評価テスト（仮称） 高等学校基礎学力テスト（仮称）	実施内容	専門家会議における検討 ※ 対象教科・科目、「教科型」「合教科・科目型」「総合型」等の枠組み、問題蓄積、記述式導入方法、CBT導入方法、成績表示の在り方等		「新テストの実施方針」の検討 ※出題内容・範囲、プレテスト内容、正式実施までのスケジュール等		「実施大綱」の検討（新テストの具体的な内容） ※高等学校基礎学力テスト（仮称） プレテスト準備・実施、成果や課題を把握・分析		決定・公表		高等学校基礎学力テスト（仮称）導入		大学入学希望者学力評価テスト（仮称）導入 36年度から新学習指導要領に対応	
	実施主体	新テストの実施主体の機能や在り方について検討		新テストの実施主体の設置に必要な法令改正等		実施主体設立・運営							
高等学校教育の改革	学習・指導方法の充実	課題の発見と解決に向けた生徒の主体的・協働的な学習・指導方法の充実に必要な方策について検討。既存の取組も含め、平成27年度以降順次実施											
	教員の資質能力向上	教員養成・採用・研修について、中教審教員養成部会において検討		中教審の審議結果を踏まえた制度改正		制度改正に基づく教員の養成・採用・研修の充実							
	多様な学習活動 学習成果の評価	専門家会議における検討 ※調査書の様式見直し、出願時提出資料の共通様式の策定等		調査書及び指導要録の改訂									
	学習指導要領の見直し	諮問			答申		告示		周知・徹底		教科書作成・検定・採択・供給		34年度年次進行実施
大学教育の改革	大学教育の質的転換	中教審における審議		三つのポリシーを義務付ける ※アドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー SDの義務化をはじめとする学長を補佐する体制の充実を図る		各大学における教育の質的転換							
	学生の学修成果の把握・評価推進	中教審における審議		認証評価制度において学修成果や内部質保証の評価の規定創設		学修成果や内部質保証（各大学における成果把握と改善の取組）に関する評価の推進							
	大学への編入学等の推進	高等学校専攻科修了生の大学への編入学の制度化 募集単位の大くり化、入学後の進路変更、学び直しのための環境整備を推進		各大学における編入学の推進、生涯を通じて学修に取り組める環境の整備									

県立高校改革基本計画の概要

県立高校改革の理念

これまでの県立高校改革

県立高校百校新設計画（昭和48～62年度）：生徒急増期への対応
県立高校改革推進計画（平成12～21年度）：生徒の減少と多様化対応



社会状況の変化（少子化、人口減少、グローバル化・情報化等）
公立中学校卒業生徒数の減少（平成26年7万1千人→平成41年6万2千人）
県立高校改革推進検討協議会「県立高校の将来像について（報告）」等

改革のコンセプト

「生徒の学びと成長にとって何が必要かという視点を最優先にする（スチューデント・ファースト）」という基本的な考え方に立って、すべての県立高校で改革に取り組みます

改革の3つの柱

生徒の多様性（ダイバーシティ）を尊重し、個性や能力を伸ばす、質の高い教育の充実

魅力ある学校づくりを一層推進する学校経営力の向上

少子化社会の中で生徒に望ましい教育を推進する県立高校の再編・統合

めざす生徒像

県立高校に学ぶ生徒を、夢や希望、そして志をもち、学びを通じて自らの人生を切り拓き、生涯をたくましく生きる力や、人を思いやり、社会とかかわり貢献する力を身に付けた人に育てます

めざす学校像

「めざす生徒像」の実現に向けて、生徒一人ひとりを大切に育む豊かな人間性と高い専門性を身に付けた教職員の育成・配置や、生徒にとって安全・安心で快適な教育環境の整備、さらには、地域と連携した学校づくりなどを通じて、県民と地域に信頼され、活力ある魅力にあふれた県立高校にします

※ 3つの柱を具現化するために、7つの重点目標とそれぞれに重点項目を2～3設定。その中で改革の方向と主な取り組み内容を記載。

県立高校改革の方向と主な取り組み内容

◇ 重点目標1 すべての生徒に自立する力・社会を生き抜く力を育成します

- 1 生徒の学力を伸ばす質の高い教育の実践
 - 県立高校間や大学・職業技術校等の教育機関、企業などと連携する仕組み（コンソーシアム）による単位互換システムの構築
 - ICTを活用した効果的な授業改善の推進 など
- 2 グローバル社会を生きる能力を伸ばす教育の推進
 - すべての生徒への英語を中心とした外国語コミュニケーション能力の育成
 - 健康、福祉、防災など多様な「いのちの授業」の実践の推進や事例の普及 など
- 3 自立に向けたキャリア教育・職業教育の充実
 - 普通科高校の生徒への職業教育の充実 など

◇ 重点目標2 生徒の個性や優れた能力を伸ばす教育に取り組みます

- 1 個性を伸ばし能力・専門性を高める高校教育の推進
 - スーパーサイエンスハイスクール（SSH）、理数教育推進校、スーパーグローバルハイスクール（SGH）、グローバル教育推進校の指定
 - 国際バカロレアの認定に向けた取り組みの検討・実施 など
- 2 社会状況や産業動向等に対応した専門教育の充実
 - スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH）の指定 など

◇ 重点目標3 共生社会づくりに向けたインクルーシブ教育を推進します

- 1 すべての県立高校で取り組む神奈川の支援教育の充実
 - 教育相談コーディネーターの養成と研修の強化 など
- 2 インクルーシブ教育の新たな展開
 - 障害のある生徒が高校教育を受けるための入学者選抜や教育課程・進路支援等についての研究
 - インクルーシブ教育実践推進校の指定 など

◇ 重点目標4 学校の教育目標の着実な達成をめざす学校経営に取り組みます

- 1 学校評価をいかした自律的・組織的な学校経営の推進
 - 学校評価や第三者評価を活用した学校改善の一層の推進 など
- 2 県民への学校理解を促進する情報提供の工夫・発信
 - 様々な機会を活用して情報提供するなど、中学生や保護者等関係者への広報・周知方法の工夫 など
- 3 教職員のプロフェッショナルな実践的指導力の向上
 - 単位修得型の教職員研修の導入 など

◇ 重点目標5 地域の新たなコミュニティの核となる学校づくりを進めます

- 1 地域との連携・協働による高校教育の充実
 - 学校支援ボランティアの拡充による学習活動や部活動等の充実 など
- 2 神奈川らしいコミュニティ・スクールの導入
 - これまでクリエイティブスクールで取り組んできた学校運営協議会の仕組みを活用した、先進的な取り組みの成果をいかしたコミュニティ・スクールの推進 など
- 3 地域の生涯学習や交流活動への学校開放の促進
 - 専門学科高校等での地域の企業や商店街とタイアップした商品の企画・開発 など

◇ 重点目標6 生徒が安全・安心で快適に学べる教育環境の提供に取り組みます

- 1 学校の校舎や生活環境等の計画的な整備の推進
 - 安全・安心な学校づくりに向けた耐震・老朽化対策の推進
 - トイレをはじめ、生徒が学校で日常使用する施設・設備等の整備 など
- 2 ICTや専門教育の施設・設備の充実・改善
 - 教員一人に付き一台のコンピュータの配備 など

◇ 重点目標7 少子化社会における適正な規模等に基づく県立高校の再編・統合に取り組みます

- 1 学校規模の適正化の推進
 - 県立高校の再編・統合を通じた、現行の標準規模以上にすることを基本としつつ、それぞれの学校や生徒の実態に応じた学校規模への取り組み
- 2 生徒数や地域バランス等に配慮した県立高校の再編・統合
 - 中学生の公立高校への進学希望の状況、高校での学習ニーズや生徒の通学環境、地域バランス等にも配慮した課程・学科等の適正な学校配置についての取り組み

教育改革年表

西暦 (平成)	できごと(◎国・○神奈川県・△県下市町村・他)
	○～高校百校新設計画 ～1987 生徒急増期
	○1989～生徒急減期 <偏差値から個性値へ>
1997(H 9)	○入学者選抜改正 「ア・テスト廃止/複数志願制度」
1999(H 11)	○県立高校改革推進計画<H12～H21>
2000(H 12)	◎沖縄サミット(G 8 教育大臣会合) →グローバル化時代に求められる大学教育のあり方(答申)
2001(H 13)	
2002(H 14)	◎学習指導要領完全実施(ゆとり教育)
2003(H 15)	
2004(H 16)	※国際教養大学 ○入学者選抜制度の改善 「前期/後期選抜の実施」 新たな学力
2005(H 17)	◎中教審 「我が国の高等教育の将来像」 ○学区撤廃
2006(H 18)	◎教育基本法改正
2007(H 19)	○「かながわ教育ビジョン」
2008(H 20)	
2009(H 21)	○県立中等教育学校開校
2010(H 22)	
2011(H 23)	◎学習指導要領完全実施(小学校)
2012(H 24)	△市立南高校附属中開校
2013(H 25)	○神奈川県公立高校新入試制度実施 「共通選抜/面接」 ◎国立教育政策研究所報告書
2014(H 26)	△市立川崎高校附属中開校
2015(H 27)	
2016(H 28)	
2017(H 29)	△横浜サイエンスフロンティア高校附属中開校
2018(H 30)	◎小5・6 英語教科化
2019(H 31)	◎高校基礎学力テスト開始(予定)
2020(H 32)	◎新学習指導要領完全実施 ◎高校入学希望者学力評価テスト(予定)／「教科型」「合教科・科目型」「総合型」

資料<公立中等教育校受験>600/4750-4550

○平塚中等教育	○相模原中等教育	○南高校付属	○川崎高校付属
160/800-900	160/1400-1500	160/1700-1300	120/850

※ 学力検査を行わない(教科テストができない)

→ **通性検査** ×知らないと解けない問題、設問をしっかりと読めば解答できる・・・情報量膨大
実践的(身の回り・日常のこと) 算数力、規則性の発見

南付属は、+作業とスピード?、川崎付属は、解答の半数が記述問題(作文・短文・実験ノート記入)

資料<公立高校受験>

→ **共通選抜**・・・過去において全国 レベルとよばれた

→ 記述問題増加、問題量増加等々 「思考力」「理解力」

<学力検査の平均点>

	英語	国語	数学	理科	社会	5科合計
H27	51.8	64.4	52.6	37.4	50.2	256.4
H26	59.6	60.8	51.7	38.6	49.5	260.2
H25	54.8	67.8	65.6	66.4	51.1	305.6

<東京都>

	英語	国語	数学	理科	社会	5科合計
H27	63.4	65.6	62.0	59.4	59.1	309.5 M
H26	53.7	61.6	57.6	57.3	57.4	287.6

→ **特色検査**・・・大学新テストの !?

横浜翠嵐/英数国理社の基本的な学習、問題を総合的に考える力を持つことが大切。理科や数学の設問に取り組む際にも国語力が必要

湘南/英語・数学・国語・理科・社会の5教科だけでなく、学校生活で学んだこと全体を問う形式

横浜緑ヶ丘/「論理的思考力・表現力・創造性」を問う問題であり、解答が1つに限定されない問題

希望が丘/専門的な知識がなければ解けない問題はなく、論理的思考・多角的な視点を問う出題

南/中学校までに学習した基礎的・基本的な知識を活用し、提示された文章や資料・図などを正確に読み取り筋道をたてて考える力

横浜サイエンスフロンティア/学校の教育方針に沿って作成、英語の技能・知識や現代社会の問題に対する理解や好奇心を持っているかを問う問題

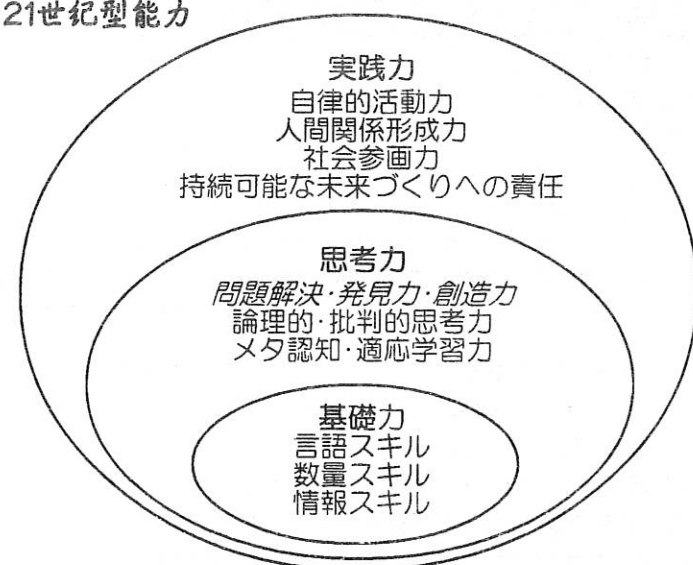
県立高再編 年内にも対象校明示 来年度から実施方針 6/23

県議会定例会は二十二日、代表質問が行われ、県立高校の再編について、県教育委員会の桐谷次郎教育長は年内にも再編対象校を明示する方針を明らかにした。

県教委は今年一月、県立高校改革基本計画を策定。少子化の進行を見越して「適正な規模などに基づく再編・統合に取り組む」と掲げている。桐谷教育長は「通学範囲や鉄道路線を勘案し、県内をいくつかの地区に区分して再編を進めたい」とし、「地区ごとの中学校卒業生数の動向を詳細に把握した上で、普通科や専門科などタイプ別にバランスをとった配置を検討する」と答弁した。

今秋にも改革の実施計画素案をまとめ、年内には再編対象校を計画に盛り込み、来年度から実施していく方針を示した。今年四月時点で、県立高校は百四十二校一分校。基本計画では公立中学校卒業生数が二〇一四年三月の約七万五百人から、二九年三月には一万人近く減少すると見込んでいる。

21世紀型能力



「第26回 かながわ教育シンポジウム」次第
平成27年7月5日(日) 於新横浜国際ホテル

(氏名敬称略 以下同)

◇第一部 午後4時30分～6時30分

- ・主催者挨拶 荒谷 博孝 当協会 会長
- ・来賓ご挨拶 牧島 かれん 衆議院議員 [当協会 理事]
- 桐谷 次郎 神奈川県教育委員会 教育長
- 松森 繁 神奈川県 県民局長

〈読書作文コンクール表彰式〉

- ・作者ご挨拶 作詞作曲家 望月 翔太
- ・優秀者表彰式 (11名)
- ・望月翔太プロデュース 「カノン」演奏 (旅の途中・スタートライン)

〈講演〉

講演：白根 陸夫 氏 (NPO 日本プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー協会 理事長)
『大きく変わる大学生の就職活動』～キャリア教育を中学・高校現場へ～

〈教育課題研究〉

当協会第二部会長 掛川 忠良 「入試から見えるもの」

◇第二部 午後6時40分～8時00分

- ・来賓ご挨拶 牧島 功 神奈川県議会議員 [当協会 顧問団々長]
- 大澤 一郎 山手学院中学・高等学校 学校長

- ・乾 杯 安藤 大作 公益社団法人全国学習塾協会 会長
- ※ 他の学習塾団体もご紹介させていただきます。

・情報交換会 (懇親会)

☆ご挨拶 新学校長
塾・教育関連企業ご紹介

- ・終了のご挨拶 井上 孝男 当協会 副会長

【司会進行】 岡田 浩実 (MC、リポーター／元宝塚歌劇団所属・神奈川県出身)

☆読書作文コンクール 受賞者☆

【最優秀賞】

小学生 水戸 さくら (宮崎教室)
中学生 井芹 友香 (Gゼミナール)
金子 紫音 (パスカル進学ゼミ)
高校生 大西 杏奈 (多摩英数進学教室)

【優秀賞】

小学生 中西 薫音 (Gゼミナール)
菊地 にこり (エコール学院 富水教室)
中学生 浅岡 祐以 (湘南未来塾)
鈴木 ひかり (パスカル進学ゼミ)
花田 明未香 (パスカル進学ゼミ)
門田 結希 (宮崎教室)
高校生 山崎 希美 (成績Apシステム)

テーブル 番号	学校名・所属	役 職	お名前
------------	--------	-----	-----

ご来賓

1	衆議院議員	当協会理事	牧島 かれん
1	神奈川県議会議員	当協会顧問団団長	牧島 功
1	神奈川県 県民局長	県民局長	松森 繁
1	神奈川県教育委員会	教育長	桐谷 次郎

講師・作家

1	講演 NPO日本プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー協会理事長	白根 陸夫
5	読書コンクール作家	作詞作曲家 望月 翔太

全国私塾団体

1	一般社団法人かながわ民間教育協会	元理事長	中村 弘道
1	一般社団法人かながわ民間教育協会	会長	荒谷 博孝
1	公益社団法人 全国学習塾協会	会長	安藤 大作
3	公益社団法人 全国学習塾協会	専務理事	稲葉 秀雄
3	神奈川県私塾協同組合	理事長	森 隆
5	神奈川県私塾協同組合	専務理事	宮崎 智樹
3	NPO塾全協東日本ブロック	理事長	沼田 広慶
3	全国学習塾協同組合	副理事長	玉城 邦夫
3	埼玉県私塾協同組合	理事長	坂田 義勝
3	埼玉県私塾協同組合	理事	戸田 敦子
3	埼玉県私塾協同組合	理事	蓮 克彦
2	一般社団法人神奈川県学習塾連絡会	副会長	田中 保行

大 学

3	横浜薬科大学	管理局長兼入試事務局長	都築 繁利
---	--------	-------------	-------

司 会

12	司会		岡田 浩実
----	----	--	-------

神奈川県 私立中学校・高等学校

7	アレセイア湘南中学・高等学校	広報募集部長	山田 信幸
6	鎌倉学園中学・高等学校	教頭	武田 隆
7	関東学院六浦中学・高等学校	校長	黒田 勝男
2	北鎌倉女子学園中学・高等学校	校長	瀧本 聡(新任)
6	鶴沼高等学校	校長	今井 正男
10	鶴沼高等学校	入試委員・進路指導部長	安藤 修平
12	鶴沼高等学校	入試委員長	井上 奈々
8	向上高等学校	広報主任	上野 盛男
13	向上高等学校	広報担当	坂本 雄一
8	相模女子大学中部・高等部	副校長	長山 恭司
11	相模女子大学中部・高等部	キャリア部長	水谷 彩
7	自修館中等教育学校	入試広報室長	佐藤 信
1	湘南学院高等学校	学院長	長瀬 弘
8	湘南学院高等学校	校長	宇佐神 美代子
13	湘南学院高等学校	入学対策部長	渡辺 史緒
6	清心女子高等学校		吉川 登
6	聖和学院中学・高等学校	理事	佐藤 宜男
8	相洋中学・高等学校	教頭	相澤 節
10	高木学園女子高等学校	総務部長	野島 浩一
6	立花学園高等学校	入試対策部長	河端 和彦
13	立花学園高等学校	入試対策部	武井 政之
6	橘学園中学・高等学校	入試広報部長	堂本 圭吾
5	鶴見大学附属中学・高等学校	校長	亀山 仁(新任)

テーブル 番号	学校名・所属	役 職	お名前
------------	--------	-----	-----

7	白鷗女子高等学校	校長	藤原 秀樹
12	白鷗女子高等学校	校長代理	佐藤 恭子
11	白鷗女子高等学校	進路指導部長	加藤 芳孝
5	藤沢翔陵高等学校	校長	篠原 充
2	武相中学・高等学校	校長	中田 仁
2	三浦学苑高等学校	校長	宮野 くに子(新任)
13	三浦学苑高等学校	校務主任	堀越 茂
8	緑ヶ丘女子中学・高等学校	副校長	佐久間 隆
1	山手学院中学・高等学校	校長	大澤 一郎
13	横須賀学院中学・高等学校	主事	落合 英明
6	横浜中学・高等学校	校長	葛 蔵造
10	横浜中学・高等学校	主事	三原 馨
8	横浜学園高等学校	入試広報部主任	成島 烈
11	横浜女学院中学高等学校	広報委員・高3学年主任	斎藤 良光
7	横浜清風高等学校	入試対策部長	手塚 朗
7	横浜創英中学・高等学校	入試広報部長	稲垣 勝二
10	横浜創学館高等学校	入試対策室長	二本木 哲也
2	横浜華人中学・高等学校	校長	鈴木 紀代子
11	横浜華人中学・高等学校	中学教頭	南崎 徳彦

東京都 私立中学校・高等学校

11	駒込中学・高等学校	参与	山野辺 裕之
10	下北沢成徳高等学校	広報部長	加賀谷 諭
5	正則高等学校	校長	日沼 慎吉
5	千代田女学園中学・高等学校	校長	豊岡 稔(新任)
12	千代田女学園中学・高等学校	教頭	岡田 孝子
10	東京女子学園中学・高等学校	広報室募集対策委員	川崎 雅通

私 塾

2	EST大成学院	代表	掛川 忠良
5	栄昌学院	副理事長	西崎 正博
10	栄昌学院	教育情報本部長	鈴木 清彦
6	エールアカデミー	塾長	清水 浩二
2	エコール学院	学院長	田中 保行
3	SPS湘南	塾長	森 隆
11	SPS湘南未来塾	塾長	内升 敦
2	学習教室エペールム	代表取締役・塾長	井上 孝男
5	学習塾 宮崎教室	塾長	宮崎 智樹
8	グループ「全」	代表	磯崎 斉
7	国大Qゼミ	学習塾事業部課長	吉村 功
10	国大Qゼミ	二俣川校校舎長	岡島 忍
11	国大Qゼミ	二俣川校大学受験コース責任者	宮田 大輔
5	秀学ゼミナール	代表取締役	小池 和男
8	秀学ゼミナール	塾長	長澤 利保
7	成績Apシステム	塾長	帆足 二郎
13	成績Apシステム	運営部長	長澤 大輔
2	創英ゼミナール	代表	豊川 忠紀
8	創英ゼミナール	部長	川元 一朗
11	創英ゼミナール	部長補佐	益子 一之
12	大東塾	塾長	平塚 恵一
12	パスカル進学ゼミ	塾長	鈴木 克仁
6	Pencilゼミナール	代表	工藤 幸一
10	マツハシゼミナール	取締役	橋山 智洋
11	マツハシゼミナール	町田校校長	霜島 昭
13	マツハシゼミナール	初音ヶ丘校校長	笹木 賢人
13	明哲ゼミナール	代表	伊藤 直樹
1	大和ゼミナール	塾長	奈良 恒彦
2	(株)臨海	入試情報センター係長	森井 昌邦

テーブル 番号	企業名	役 職	お名前
------------	-----	-----	-----

教育関連企業

5	株アイウェア/海外帰国子女教育専門機関JOBA	取締役	渋谷 毅
6	株アイウェア/海外帰国子女教育専門機関JOBA	生徒募集支援担当	宮田 征豊
13	株アイウェア/海外帰国子女教育専門機関JOBA	生徒募集支援担当	杉谷 英郎
5	朝日学生新聞社	教育担当・次長	森島 龍
7	朝日学生新聞社	教育担当	五十嵐 靖人
7	株育伸社横浜営業所	課長	矢野 彰宏
11	株育伸社横浜営業所	主任	中澤 剛史
10	株イスト	EMPS事業部 主任	小原 洋輔
13	株イスト	EMPS事業部	岩崎 靖子
3	株学術企画	代表取締役社長	鍋田 稔
2	教育開発出版株	横浜営業所所長	深川 和郎
12	教育開発出版株	学校事業1課課長	山本 啓幸
12	株教育情報	代表取締役	田中 光隆
12	株教育情報	ブライバシーコンサルタント	田中 秀法

テーブル 番号	企業名	役 職	お名前
------------	-----	-----	-----

3	株声の教育社	専務取締役	小泉 邦人
5	株塾と教育社	代表取締役社長	加藤 麻由美
12	マイアット株	常務取締役	小池 熊侍
2	(資)マゼント・ブレイン・アソシエイツ	代表	中土井 鉄信
8	(資)マゼント・ブレイン・アソシエイツ	シニアコンサルタント	浅井 正美
13	(資)マゼント・ブレイン・アソシエイツ		柄澤 亜希

(5 0 音順・敬称略)

会場テーブル番号配置図

ステージ

司会

3

1

2

5

7

6

8

12

10

11

13

読書作文コンクール受賞者席

読書作文コンクール関係者席

入
口

第26回 かながわ教育シンポジウム

次第／御出席者名簿

平成27年7月5日(日)
於新横浜国際ホテル 2F クリスティ

共催：一般社団法人 かながわ民間教育協会・神奈川県私塾協同組合

<http://www.kmkk.or.jp/>

■個人情報について
一般社団法人かながわ民間教育協会では、会員・参加者の情報を適切に収集・利用・保護し、個人情報について慎重に取扱い、関係職員に徹底を図ってまいります。
当名簿の第三者への配布はご遠慮下さい。